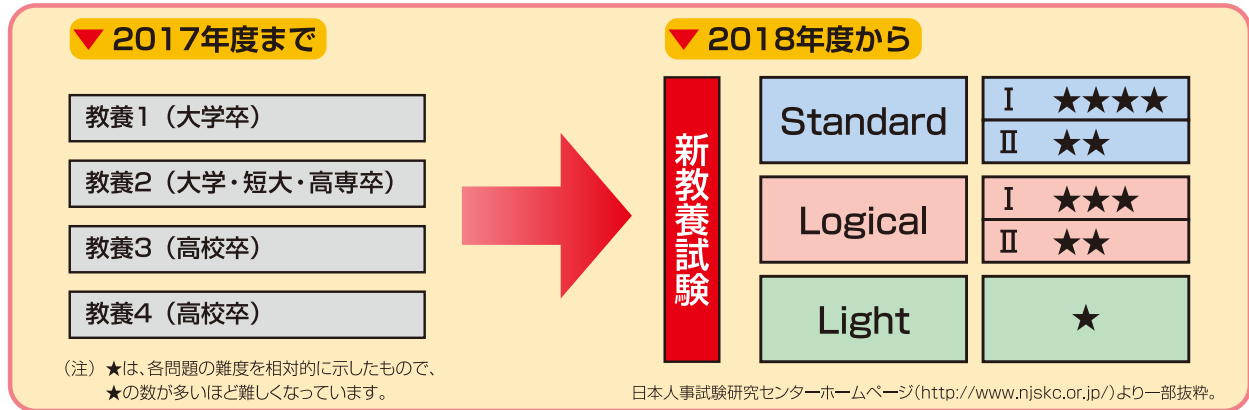


教養試験が変わりました！

特報
①

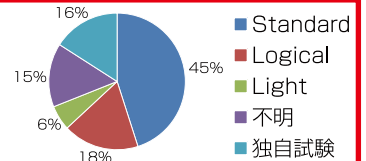
公益財団法人日本人事試験研究センター(2017年度実績：全地方公共団体の92.6%の試験問題を作成)の教養試験の出題パターンが2018年度より変更となりました。

東京アカデミーではこれらの「新教養試験」に対して、通学講座や短期講習などでしっかりと対策をお取りいただくことができます。通学講座のご案内はP.20以降をご確認ください。



最新情報

2018年7月22日に実施された試験のうち、457市町村・広域事務組合等の1,636職種について、東京アカデミーでは聞き取り調査を行いました。その結果、右の円グラフのとおりの出題状況であることが判明しております。C日程に関しては追ってご連絡いたします。



Standard<標準タイプ>とは

従来の教養試験と共通性の高い試験

【五肢択一式、40題(知能分野20題、知識分野20題)、120分】

- これまでと比べて時事を重視し、社会的に幅広い分野の題材(ICT、環境問題、社会保障など)が出題されます。
- 「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語(漢字の読み、ことわざ等)」の出題はありません。

採用自治体(2018年12月1日現在判明分) ※弊社調査によるため、実際の試験と異なる場合があります。

国立市、小金井市、多摩市、府中市、武蔵村山市、東久留米市、匝瑳市、市原市、木更津市、流山市、船橋市、入間市、川越市、行田市、久喜市、鴻巣市、十日町市、糸魚川市、佐渡市

Logical<知能重視タイプ>とは

知識より論理的思考と読解能力を重視する試験

【五肢択一式、40題(知能分野27題、知識分野13題)、120分】

- 知能分野ではStandardよりも文章理解、判断推理・数的推理、資料解釈の出題がそれぞれ増える一方、知識分野では「自然に関する一般知識」の出題がありません。
- これまでと比べて時事が重視され、社会的に幅広い分野の題材(ICT、環境問題、社会保障など)が出題されます。
- 「古文」、「哲学、文学、芸術等」、「国語(漢字の読み、ことわざ等)」の出題がありません。

採用自治体(2018年12月1日現在判明分) ※弊社調査によるため、実際の試験と異なる場合があります。

印西市、佐倉市、白井市、旭市、銚子市、勝浦市、富津市、蕨市、胎内市、妙高市

Light<基礎力タイプ>とは

公務員試験に向けた準備をしていない方でも受験しやすい試験

【四肢択一式、60題、75分】

- 出題分野は「社会への関心と理解」(24題)、「言語的な能力」(18題)、「論理的な思考力」(18題)の3分野です。
- 日本人事試験研究センターの発表を見ると、人物重視で行われる試験や専門試験を重視する試験(技術職・資格職など)で採用される可能性があります。

★ Light試験にそなえた短期講習を実施しています！(時期：7～8月頃)

採用自治体(2018年12月1日現在判明分) ※弊社調査によるため、実際の試験と異なる場合があります。

昭島市(一般事務社会人基礎)、南足柄市、北本市、出雲崎町、南魚沼市